



新型コロナウイルスに翻弄されて早3年、ようやく政府からのマスク着用解除、第5類への移行がアナウンスされ、日本にもやっと開放的な日々がやってきそうです。そんな中皆さんはどんな楽しいことを計画していますか？

JUMPはこれからもさらに活発な活動を企画できるよう努力いたしますので、今後とも何卒よろしく願いいたします。

2022年4月～2023年3月 活動報告

● JUMP HPを開設しました!

サポーターの皆様にはいろいろなコンテンツをご利用いただけます。



<http://jump311.html.xdomain.jp/>

● インスタグラムも始めました!



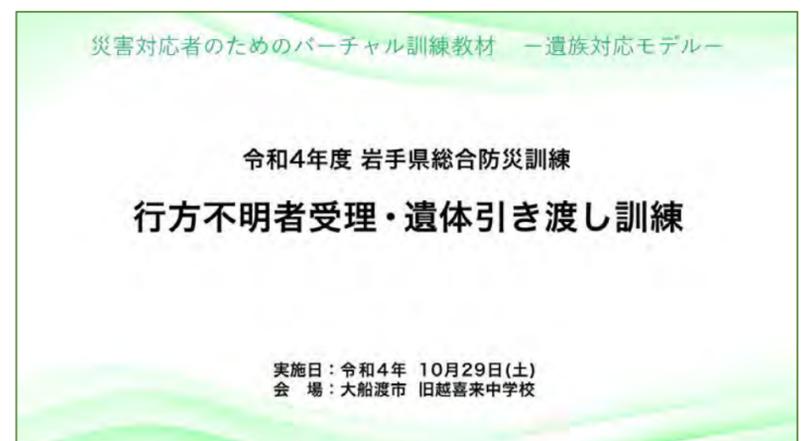
<https://instagram.com/jump.japan?r=nametag>

● 令和4年度岩手県主催総合防災訓練に参加しました!



2022年10月29日、岩手県大船渡市旧越喜来中学校で開催された検視・身元確認訓練、遺族対応訓練に、JUMPディレクター熊谷章子先生、波田野悠夏先生、サポーター鈴木敏彦先生が参加しました。

訓練の様子を映像に保存し制作した「遺族対応のためのバーチャル訓練教材」をJUMP YouTubeチャンネルからご視聴いただけます。



<https://www.youtube.com/@jumpjapan>

JUMPによる学術発表

学会発表

第28回日本災害医学会総会・学術集会（2023年3月9-11日 盛岡）

- ・ 熊谷章子, 波田野悠夏, 鈴木敏彦, 赤平美津子, 大塚耕太郎.
「災害犠牲者遺族対応のためのバーチャル訓練モデルの紹介」
- ・ 熊谷章子, 大林由美子, 岡 広子, 勝村聖子, 波田野悠夏, 斉藤久子.
「ウェブアプリケーションを利用した歯科情報による災害時多数犠牲者身元調査のための訓練実施報告」

レクチャー・セミナー

2022年11月13日（日）JUMP後援
Association Forensic Odontology for Human Rights Japan Meeting
（トラストシティカンファレンス・京橋）

Association Forensic Odontology for Human Rights
Japan Meeting in 2022
Construction of International relationship for Forensic Odontology

協賛：Japanese Unidentified and Missing Persons Response Team (JUMP)
後援：日本法歯科医学会 助成：公益社団法人ライオンズクラブ国際委員会

日時：2022年11月13日（日）10:00 - 16:30
会場：トラストシティカンファレンス・京橋
〒104-0031 東京都中央区京橋2-1-3 京橋トラストタワー4階
TEL：81-3-5221-8079 <https://www.tcc-kaijishi.com/tcc-k/access.html>

基調講演

- AFOHRの紹介 AFOHR 初代理事長 Prof. Dr. E. Nuzzolese
- AFOHRの発展 AFOHR 現理事長 Dr. H. Pandey
- 法医学のスキルアップ-AFOHRと共に- AFOHR理事 Dr. W. Rihawi
- JUMPの紹介 JUMP代表 Dr. A. Kumagai
- 日本法歯科医学会の紹介 日本法歯科医学会理事長 Prof. Dr. Y. Yamada
- 岩手県警察と法医学 岩手県警察本部 Mr. K. Ohsaka

シンポジウム（テーマ：多文化共生社会における死の在り方ー世界の視点からー）

- Dr. E. Untoro, the executive board treasurer
- Dr. R. K. Singh, the executive board secretary
- Dr. K. Khalid, the board of director
- Ms. R. Sasahara, the president of SAKURA CO.

新加坡：海外参加者 無料 国内参加者 5,000円（JUMPサポーター無料）
問い合わせ：JUMP代表 熊谷章子 kumagai@ivats-med.ac.jp



日本の水際対策緩和直後の開催でした。ご参加いただいた皆様、運営にご協力いただいた皆様、そして様々な困難の中来日してくれた講師の皆様へ感謝！

2023年3月12日（日）JUMP企画セミナー（岩手県公会堂）

第一部 講演会

1. 東日本大震災の真実
講師：野澤 明由美 先生（元 東北観光案内従事者）
2. 死生観ー東日本大震災を通してー
講師：小笠原 浩暉 先生（元 釜石消防署 救急救命士）
夏林 志成 先生（元 第9戦車大隊本部 運用訓練幹部 1尉）

第二部 ワークショップ

ITシステムによる災害犠牲者身元調査机上訓練
ー災害時の生前・死後歯科情報照合オンラインアプリ「36検索」ー
講師：狩野 敦史 先生
（岩手県歯科医師会 常務理事 調査室・警察歯科担当）

2022年度JUMP企画セミナー
2023年3月12日（日）
開場 9:30

会場：岩手県公会堂 2階 21号室
〒020-0023 岩手県盛岡市内丸11-2
TEL 019-623-4681
*会場には専用駐車場はございません。
近隣の駐車場をご利用いただくか、公共交通機関での来場をお願いします。

参加無料

9:45~10:00 JUMP総会
10:00~12:00 第一部 講演会

1. 東日本大震災の真実
野澤 明由美 先生（元 東北観光案内従事者）
2. 死生観ー東日本大震災を通してー
小笠原 浩暉 先生（元 釜石消防署 救急救命士）
夏林 志成 先生（元 第9戦車大隊本部 運用訓練幹部 1尉）

13:30~16:00 第二部 ワークショップ
ITシステムによる災害犠牲者身元調査机上訓練
災害時の生前・死後歯科情報照合オンラインアプリ「36検索」
狩野 敦史 先生（岩手県歯科医師会 常務理事 調査室・警察歯科担当）



2023年4月～2024年3月 関連行事のお知らせ

- **日本法歯科医学会第17回学術大会**

日程：2023年5月14日（日） 会場：東京医科歯科大学（東京）

- **第29回日本災害医学会総会・学術集会**

日程：2024年2月22日（木）～24日（土） 会場：みやこめっせ（京都）

2022年4月～2023年3月 世界の主な災害

2022年

- **4月 11日～ 南アフリカ共和国東部 大洪水と土砂崩れ** 死者400人以上 行方不明者60人以上

日系企業にも大きな影響あり、甚大な被害の原因は排水設備の不備と考えられている。

- **4月23日 日本 知床遊覧船沈没事故** 死者20人 行方不明者6人

事故は人為的も含めた複数の要因が重なったことによって起こったとされる。

- **5月30日 ブラジル北東部 大洪水と地滑り** 死者・行方不明者は100人以上

ブラジルでは小～中規模の自然災害が多発しており、その要因は災害リスクへの配慮を欠いた都市化進展と言われている。

- **6月14日～ パキスタン 大洪水** 国土の1/3が水没 死者1,500人以上 被災者3000万人以上

感染症蔓延が深刻化。モンスーンの影響に加え熱波による氷河の融解が原因とされる。

- **9月25日～ 10月27日～ フィリピン 連続した大型台風による被害**

特にフィリピン南部を襲った台風22号による洪水や土砂崩れによる死者は100人以上。

- **10月29日 韓国 ソウル梨泰院雑踏事故** 新型ウイルスによる規制解除後のハロウィンで混雑した

中で発生した群衆雪崩。死者は生還後に自殺した者も含め159人、多くが若者たちであった。

- **10月30日 インド グラジャート州吊り橋崩落** 死者135人

ヒンドゥー教祭事のため建造から140年以上経った橋の上に500人以上の人がいたという。

- **11月3日 北朝鮮 弾道ミサイル3発連射** 全てが日本海側の排他的経済水域（EEZ）外に落下した

模様だが、日本上空を通過したというJアラート発令によって一時混乱が生じた。

- **11月13日 トルコ イスタンブール爆破事件** 6人死亡

少数民族クルド人の武装組織 人民防衛隊（YPG）による犯行と見られる。

- **11月21日 インドネシア ジャワ島地震** M5.6 死者268人 負傷者1,000人以上 被災者5万人以上

学校で多くの小児が犠牲となった。

2023年

- **1月15日 ネパール イエティ航空旅客機墜落** 死者71人 渓谷に墜落し、1人が今も行方不明。

- **2月6日 トルコ・シリア地震（ガズィアンテプ地震）** M7.7-7.8 死者50,000人以上

被災者2,300万人以上 多くが建物倒壊による被害。

・2月27日 イタリア南部カラブリア州沖 移民船難破 死者は少なくとも59人

2014年以降地中海中部のルートで2万人以上の移民が命を落としているという。

・2月28日 ギリシャ北部 列車衝突事故 死者43人 個人識別に苦慮

原因は複数の人為的なミスが重なったことによるものと発表されている。 . . . 他、多数

未だ継続されているロシアのウクライナ侵攻に加え、トルコとシリアに大規模地震による大きな被害が発生しました。72時間を超えても瓦礫の下で生き延びた方々が救出されたという報道に、生命のたくましさを感じます。

日本とは文化が異なる国で、このような惨事が起きた場合、日本とはその対応方法は異なってくるとは思いますが、犠牲者とその遺族の尊厳が尊重されるべきであることは万国共通の基本理念です。しかし、日本国内のメディアには取り上げることのできない、われわれが知る由もないような非人道的な出来事が起こってしまっているのは事実のようです。

比較的平和が保たれている日本で暮らすわれわれは、むしろ命の尊さや社会的秩序を維持することの大切さを忘れがちかもしれません。「他人事」とせずに、今世界で起こってしまっている実情に目を向け耳を傾けることも必要であることを改めて認識させられます。

豆知識のコーナー

十三回忌

2023年3月11日は東日本大震災の直接被害によって犠牲となられた方々の十三回忌でした。年忌法要は仏になり極楽浄土に行った故人を精進への道へと導くために営まれます。なかでも十三回忌は故人が宇宙の真理である「大日如来」とひとつになる重要な日です。すべての命あるものはこの大日如来から生まれたとされ、釈迦如来も含め他の仏は大日如来の化身と考えられているのだそうです。十三回忌は仏教の伝統に則った法要で、本来は近しい人たちのみで小規模で行われるのが一般的のようですが、東日本震災犠牲者1,500人以上の方々に対するもの

となれば、こじんまりと言うわけにはいきません。発災日である3月11日以前から被災県各地で様々な式典がなされました。それでは、未だ行方不明となっている方々の近しい人たちは、どのような思いでこの日を迎えたのでしょうか。人それぞれでその思いは異なるでしょうが、今も行方不明者の帰宅を待つ家族がいらっしゃることは確かなことです。2023年2月末時点で2,523人の人たちの所在が未だ不明の状態です（警察庁HPより）。現在も警察官や海上保安官等による捜索は続いています。愛する人の帰りを待ちわびる方々のこころの安らぎが少しでも早く訪れることを願っています。



半蔵門ミュージアムの大日如来坐像

出典：半蔵門ミュージアム館長執筆 山本勉「大日如来像のひみつ」